

IG 科研 島ごもり読書会

Sophie Gilliat-Ray, Mansur Ali and Stephen Pattison,

Understanding Muslim Chaplaincy,

Ashgate, 2013. (Routledge, 2016)

2022年1月9日

上智大学グリーフケア研究所・チャプレン研究会 葛西賢太

本書は、英国（イングランドとウェールズ）でのムスリムチャプレンについて初の詳細な研究。刑務所内でのイスラームの宗教実践における不自由をとりあげた共同研究を、著者の Gilliat-Ray 氏は、James Beckford としていた。この不自由へのマクロでありミクロでもある対応を描写した継続研究ともいえる。

※Beckford and Gilliat, *Religion in Prison: Equal Rites in a Multi-Faith Society*, Cambridge UP, 1998.

「個人的なことは政治的なこと」

キリスト教（風）慣習の中でのイスラーム慣習、家庭内での薰陶と学校教育、「母国語」（世代）と英語（世代）、家族内での宗教不一致 181、個人と社会、伝統と近代、ジェンダーとセクシュアリティ……欧米諸国で暮らすムスリム／ムスリマが経験するさまざまな葛藤……葛藤を、位置づけ直す仕事としてのチャプレン。ムスリムであることが私的なことだけでなく公的に位置づけされるので、生きていくためには再位置づけの戦略が必要。

ムスリム／ムスリマの個別の相談に乗る、というミクロな動きと、個々の対応が現代のイスラームを変えていくというマクロな動き 184。Third space？

チャプレンという仕事

（医療職や福祉職や）心理職への相談とは異なる位置づけ？ 軍や病院や学校や企業に属する相談相手。専門の宗教家であり柔軟な相談者でもあるという期待。

「聖書やコーランや聖人の言葉を引用して説得する人」ではない！

信教の自由（≠信教しない自由）＝宗教実践の機会の提供。金曜礼拝。

宗教の違いを超えて奉仕するのが当然という Chaplain's multi-faith Ethos。

誤解されがちなムスリム／ムスリマの Advocacy（権利擁護）や frontier としての役割も。：「スカーフをなんで被るの」「ヘアスタイルがキマんなかったからよ。詳しく聞きたかったらランチの時教えてあげる」88 頁

見舞客や遺族の殺到にどう対処するかを医療スタッフに助言 126。病院訪問の是非 138

死産児の身体を洗うべきか否かという人間的問いと、チャプレンの助言 130

「伝統的なウラマーとチャプレンの統合」という将来像？

伝統的なウラマー：クルアーンやハディース、スンナの知識を記憶し伝承し、悩みごとにファトワで助言。しかし、ムスリムコミュニティのなかでの新たな多様な葛藤に伝統的なウラマーが応えられない（それに気づかない？）悩み。

ムスリムチャプレンの台頭：ニッチな葛藤の場での自在な働き。多様な相談事に対する回答：ファトワに対する個別的回答？ ただ、イスラーム法を踏まえた権威ある助言で、相談者を安心させうるウラマー的な専門知も求められる。せめてアラビア語でクルアーンをちゃんと読める知識を、という声も。スタッフの信頼も入所者・患者の信頼も得る。124

動向に注目

旧植民地であるインド由来のデーオバンド派からの、英語ネイティブのチャプレンの多さ
初期ムスリムチャプレンの資格不足。チャプレンとしてのトレーニングをキリスト教神学校で受けた不十分さ→ムスリムチャプレン資格を提供する機関の登場

英：Cardiff 大、Markfield Institute of Higher Education in Leicester;

米：ハートフォード神学校

1952 Prison Act：聖公会のチャプレンを刑務所に配置。

1991 Patients Charter：病院内での諸宗教実践の権利を保障

2003 Muslim Chaplain という正式呼称が Prison Service で。（←Visiting Minister）

刑務所内での宗教の調査（Beckford and Gilliat-Ray1998）→社会的関心の増加。

HM Prison Service:200 名のチャプレン雇用、National Health Service:80 名

刑務所入所者の暴動やテロリズムの可能性には十分配慮

参考になる書籍や資料の圧倒的不足。チャプレン多忙。69

金沢周作『チャリティの帝国——もうひとつのイギリス近現代史』岩波新書、2021 年。

チャリティ：慈善の実践と、そのために法的に規定された制度、組織

男女それぞれのチャプレン

カーテンで仕切らない一緒にトレーニングのとまどい. 65-66 同僚として働く 139

用語などの補足（イスラームの専門家と、チャップレン関係とのために）

善行をして天国に徳を貯金することが推奨され、弱者支援や相互扶助が重視される

→病者や高齢者を見舞う意味

クルアーン（コーラン）を詠むことの特別な意義

家族以外の男女の活動空間を分ける前提

イスラーム関係の用語：

ムスリム／ムスリマ：男女のイスラーム教徒

信者の倫理：イスラーム法（シャリーア）：クルアーン（コーラン）と、預言者の言行録（ハディース）と、慣行（スンナ）を踏まえる。これらを暗記していくて助言ができる人（ウラマー）があり、大小個別の事情に即した法的助言（ファトワ）を発信する。

ハラール食：イスラームの宗教規定に沿って用意された食。病院や刑務所などで、それを確実に用意してもらうことができるだろうか。

ラマダーンとイード：イスラームで規定された断食月（ラマダーン）は、日中に断食。

ラマダーンを終えるお祝いがイード。

ウドゥー：礼拝やクルアーンに触れる前に身体を洗い清める行為

チャップレン：もともとは、施設付きの牧師。病院、軍隊、学校、企業等に属し、その宗教儀式を司る役割に加え、多様な相談事を受けたための独自のトレーニング——臨床牧会教育（Clinical Pastoral Education）が発展する。

臨床牧会教育：20世紀初頭（1925ごろ）に米国で生まれ、現代社会における宗教の意味、疾病を巡る苦悩などを取り扱うために、傾聴者自身が、自分自身の姿をグループワークで掘り下げようという方法論。臨床牧会教育協会（1967）で、チャップレンの認定・訓練制度。

一般化し得ない各々の事例に関わるとともに、事例から学ぼうという姿勢をもつ。

Pastoralはキリスト教的語彙か？：羊飼いが羊を面倒みる仕事全般。迷子になりかけた羊への手当。キリスト教の専売特許ではない（が、抵抗大）。諸宗教が多元的に共存する米国で、仏教やユダヤ教のチャップレン同様に、ムスリムチャップレンも。

チャップレン研究会

<https://chaplaincy-studies.blogspot.com/>